

神戸におけるユニバーサル社会実現に向けて

神戸市中心部



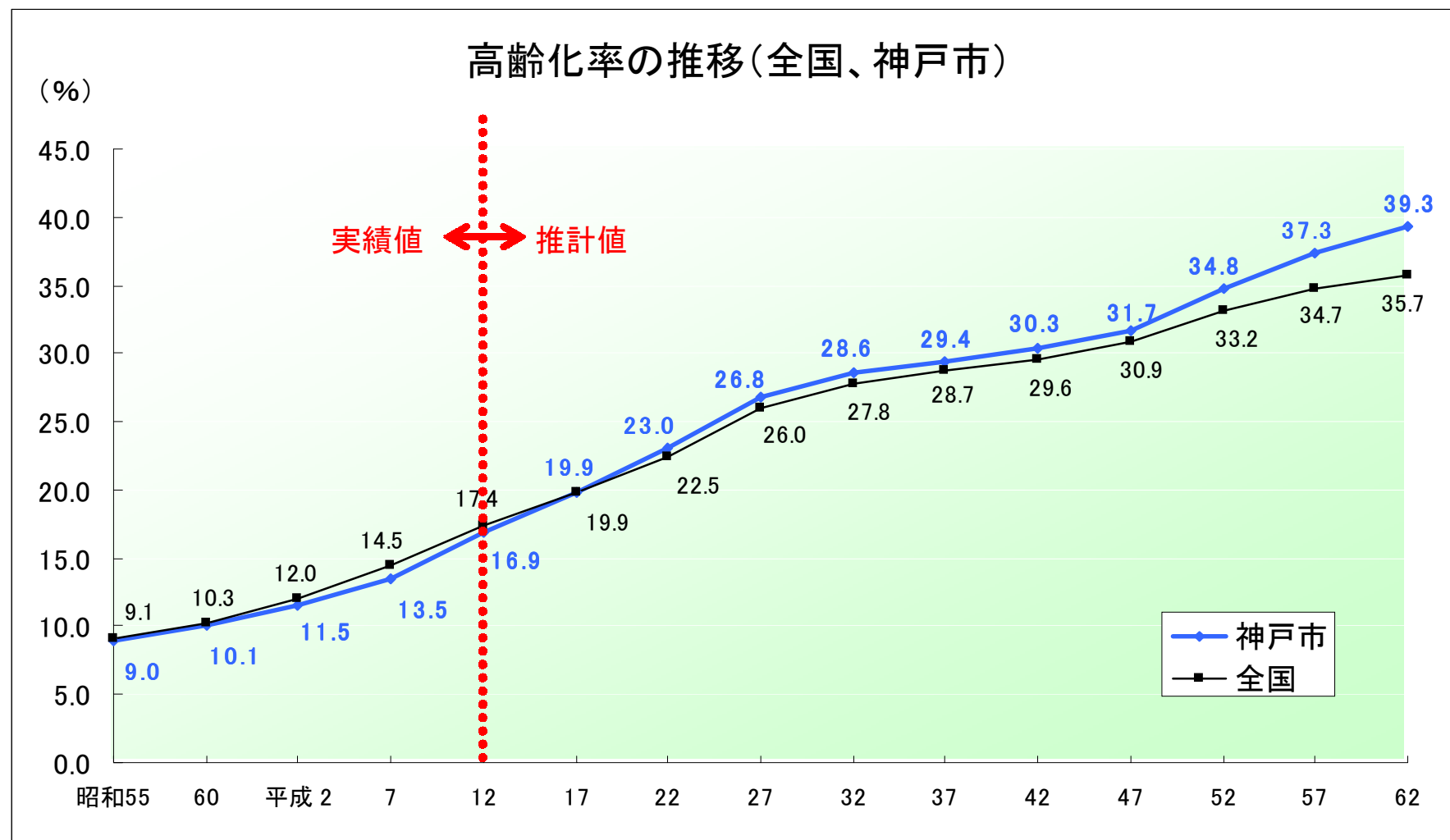
対象とする利用者：身体障害者、高齢者、外国人旅行者

○身体障害者 ⇒ 約6万人(2002年)
(市人口の約4%)

○高齢者 ⇒ 約25万人(2000年)
(市人口の約17%)

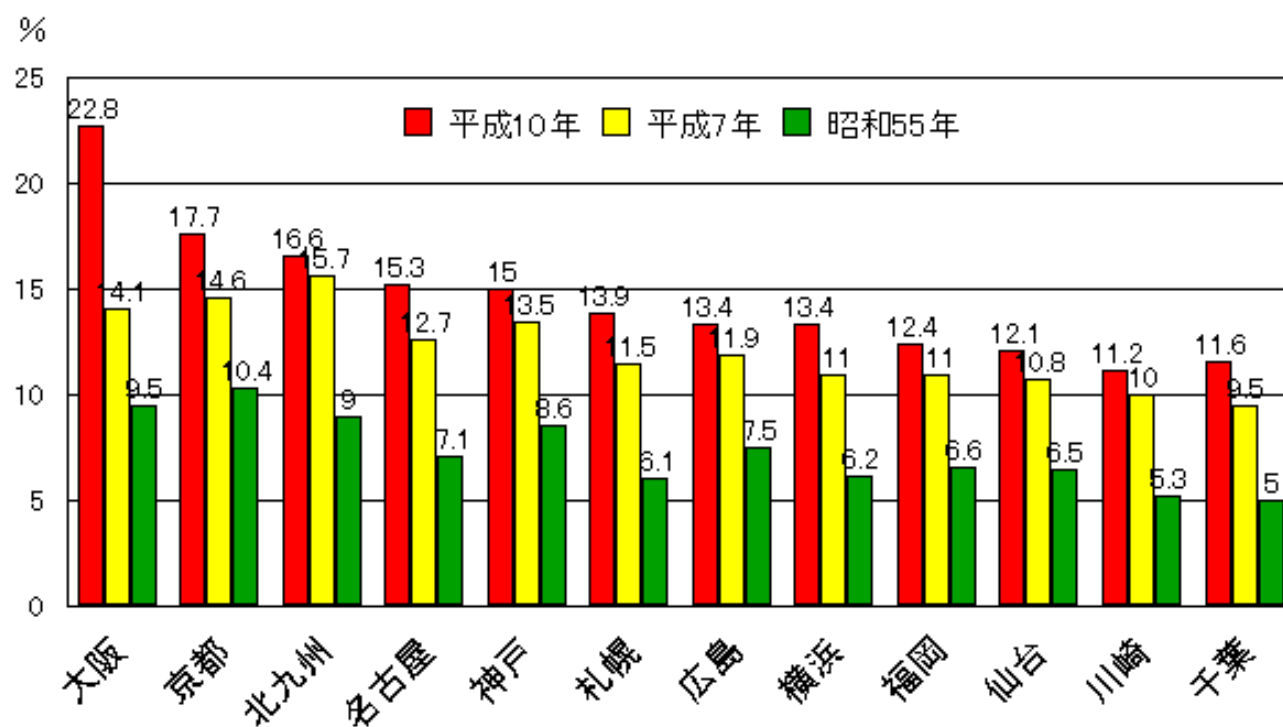
○外国人旅行者 ⇒ 約22.5万人(2002年)
(うち、14.4万人は韓国、台湾、中国から)

神戸市高齢化率の推移



神戸市高齢化率の推移

高齢化率の推移(政令指定都市)

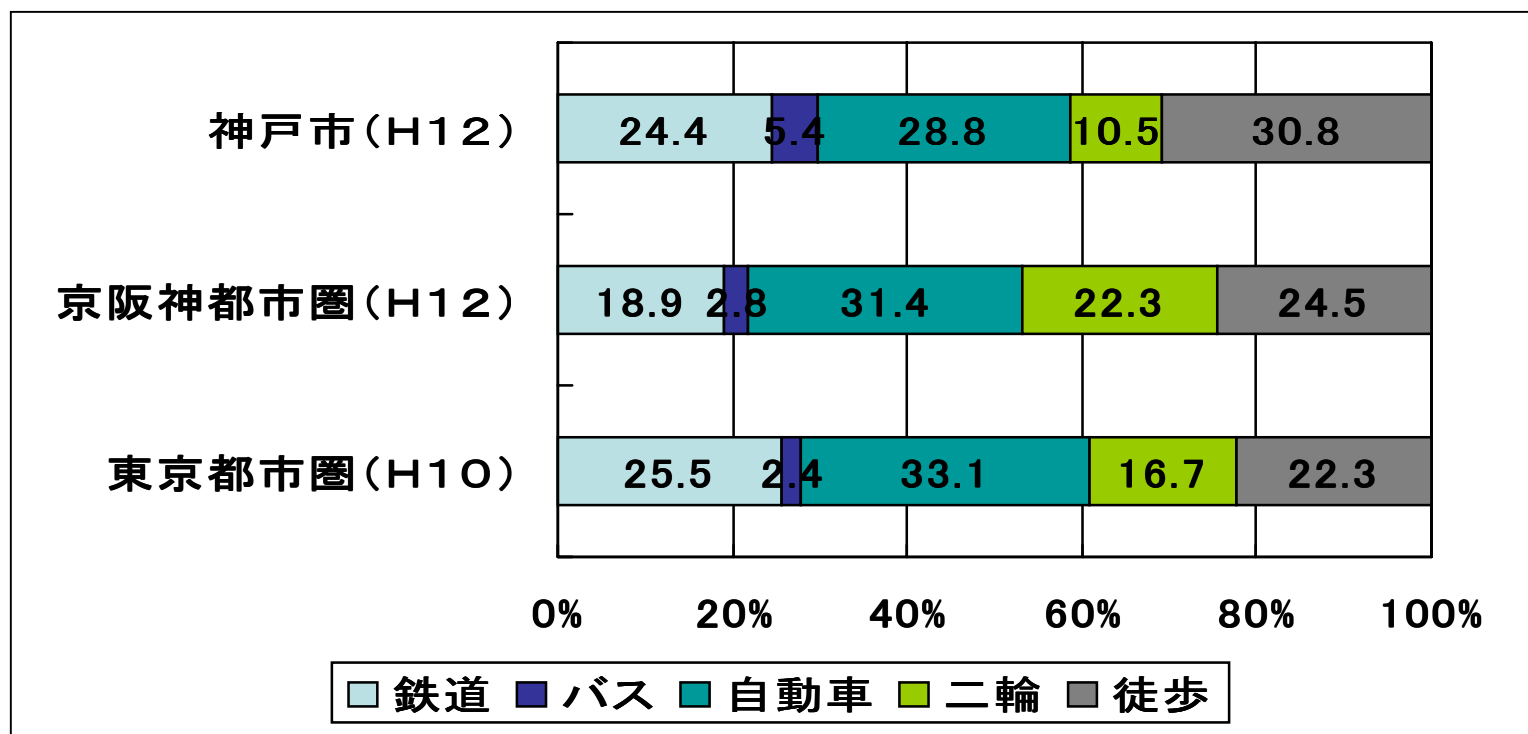


出典: 昭和55年・平成7年国勢調査、平成10年総務省資料

神戸市における移動交通手段

東京・京阪神都市圏と比較して、神戸市では、公共交通と徒歩の割合が高いのが特徴

代表交通手段別トリップ数の構成比(発生集中量)



資料: 第3回京阪神都市圏パーソントリップ調査

神戸空港の開港(2005年度)

神戸空港の開港による効果

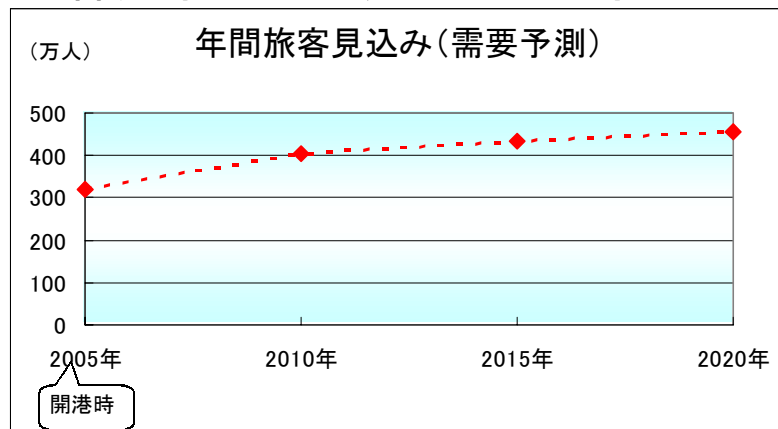
○21世紀に神戸市が目指す都市づくりに貢献。

- ・観光やコンベンションで賑わいのある「集客観光都市」
- ・多彩な人材が集い、企業や市民文化等の各分野で新しい情報が生まれ、発信される「情報文化都市」
- ・医療関連の産業集積や研究開発、人材育成の拠点となる「医療産業都市」

○経済効果(民間調査機関による)

- ・約 3,600億円の所得の増加
- ・約27,000人の雇用の増加
- ・約 300億円の市税の増収

※神戸市内のみ、平成22年時点の1年間



出典: 神戸観光アクションプラン(平成16年2月神戸市)



地域・市民におけるユニバーサル社会の実現に向けた取り組み（その1）

○震災時の地域での助けあいの経験から、人と人とのつながりの大切さを実感。復旧・復興の過程において、人とつながり、支えあいながら、市民が主体的にまちづくりにかかわっていこうという動き。

○震災で大きな被害を受けた長田区では、「長田区ユニバーサルデザイン研究会」が発足し、神戸初のユニバーサルデザインの取り組みがスタート。

地域・市民におけるユニバーサル社会の実現に向けた取り組み(その2)

○「社会福祉法人プロップ・ステーション」における「チャレンジ」の自立と社会参画・就労推進に向けた取り組み、「神戸婦人大学」における人材育成(ユニバーサルデザイン学科の創設)などを経て、平成14年には、市民による「政策提言会議」で「ユニバーサルデザイン」がテーマとなる。

○平成15年5月、このような動きを結集するとともに、神戸を世界一ユニバーサルなまちにしていこうと有志で呼びかけを行い、「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」を発足。「ユニバーサルなまち神戸」の実現に向け議論を重ね、目標や具体的な活動の方向を盛り込んだ「呼びかけ」を策定。

神戸市における主要な取組

交通バリアフリー基本構想の策定

交通バリアフリー法の施行を受けて、神戸の玄関口である三宮地区をはじめ、元町地区、神戸地区、垂水地区の4地区を「重点整備地区」として、駅や周辺の道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、「神戸市交通バリアフリー基本構想」を策定（2002年11月）

三宮地区の状況

JR、阪神、阪急、地下鉄、ポートライナーの駅その他、市役所、保健所、旅券事務所、こうべ市民福祉交流センター、神戸海岸病院、神戸国際会館、東遊園地等の主要施設が集中。

凡 例	
	地区の区域
	特定経路（地上） ※特定経路とは 特定旅客施設と主要施設との移動経路で、高齢者、身体障害者等の円滑な移動を確保できる（改善を含む）経路を特定経路とする。特定経路には、道路、駅前広場、通路等が含まれる。特定経路のうち、事業が実施される経路は、道路特定事業計画で定める。
	特定経路（地下）
	特定経路（デッキ）
	鉄道駅舎等
	主要施設 ※主要施設とは 利用者が公共交通機関を利用して訪れる広域的・全市的な施設であり、当該旅客施設との間の移動が通常徒歩で行われ、かつ高齢者、障害者、妊婦等が日常生活又は社会生活において利用すると認められる施設とする。
	駅前広場



神戸ユニバーサルシティ計画

三宮地区における地下・地上・デッキレベルの歩行者動線の3層ネットワークの構築を目指し、三宮交差点西側において中央幹線を横断するデッキ・エレベーター、エスカレーターやJR三ノ宮駅北側のエレベーターの整備を実施中。

市営地下鉄海岸線

平成13年7月に開業した海岸線全線では、エレベーター・多機能トイレ・触地図を整備。出入口、改札、プラットフォームなど場所ごとに音色を変えて視覚障害者に対し、サインとして情報を伝える。



改札口



エレベータ入口(地上)

「だれでもトイレタウン」計画

UDの取り組みの一つとして、車いす利用者、お年寄り、乳幼児連れの方、妊婦など だれもが使いやすいトイレ(だれでもトイレ)の整備を進める計画。買物客、観光客 などが多い、三宮・元町・北野・ハーバーランド地区をモデル地区として公共の建物 で整備を進め、民間の事業者にも協力依頼している。

注)UD:ユニバーサルデザイン



子どものUD学習の取り組み

小中学校の総合教育の時間などを活用し「まちのUDたんけん」や「モノのUD調べ学習」を通じて、人にやさしい『UDのまち神戸』に関する学習を行っている。



バリアフリーガイドマップの制作など

市と社会福祉協議会がCS神戸やNPOに依頼して「バリアフリーガイドマップ ときめきロード」を制作。また、多言語（日本語、英語、ハングル、中国語）で表記した案内板や観光ガイドブック・マップを作成し、案内所等で配布。

神戸市観光入込客数の推移

